

<文献紹介>日本地図学会監修 森田喬編集代表『地図の事典』

MAEMOKU, Hideaki / 前杢, 英明

(出版者 / Publisher)

法政大学地理学会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

JOURNAL of THE GEOGRAPHICAL SOCIETY OF HOSEI UNIVERSITY / 法政地理

(巻 / Volume)

55

(開始ページ / Start Page)

85

(終了ページ / End Page)

85

(発行年 / Year)

2023-03-20

【文献紹介】

日本地図学会 監修 森田 喬 編集代表 (2021年11月発行)

『地図の事典』

朝倉書店, 532 p, 定価 18,000 円 (+ 税)

本書は『図説地図事典』(武揚堂, 1984年発行)以来、約40年ぶりに刊行された地図に関する最新の本格的な事典であり、地図と関わる仕事をしている者にとっては待望の書であろう。ここ40年の間に地図に関する大きな技術革新があり、地図の世界にパラダイムシフトが生じている(本書序から引用)。そのような状況の下で刊行された本書は、まさに新しい地図の知識や使い方を重視した内容になっており、100名を超える専門家によって精選された内容で執筆された地図の百科事典である。

本書は地図を「知る、作る、使う」の3つの章が基本となり、それぞれの軸が5節で構成されている。項目数は200あり、それに加えて巻末に地図に関する歴史年表、地図投影法分類表など、8種の便利な付録が掲載されている。各項目は原則見開き2ページに収められており、文字だけでなく分かりやすいイメージがふんだんに使われている。各項目にはさらに関連する項目を参照できるよう参照先が明示されており、本書の中を行ったり来たりしながら、地図に関する知識や使い方を修得できるように工夫されている。

本書の構成は以下のようになっている。

A 地図を知る

- A1 〈地図とは何か〉以下11項
- A2 〈地図の歴史〉以下17項
- A3 〈地図と社会〉以下11項
- A4 〈地図の種類〉以下22項
- A5 〈地図の挑戦〉以下12項

B 地図を作る

- B1 〈地図の原理〉以下13項
- B2 〈地図作成の種類〉以下13項
- B3 〈地図の作図・デザイン〉以下16項
- B4 〈地図の製作・複製〉以下15項
- B5 〈ネットワーク環境の地図〉以下12項

C 地図を使う

- C1 〈地図利用の基本〉以下12項
- C2 〈地図の目的別利用〉以下12項
- C3 〈地図の入手〉以下11項
- C4 〈地図の保存・活用〉以下10項
- C5 〈地図と教育・研究〉以下13項

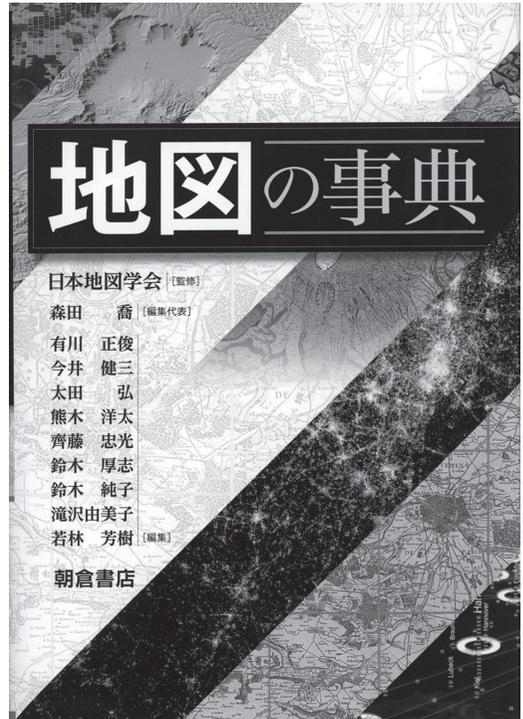
文献

付録 (I~VIII)

索引

資料編

本書は、技術を主体とした地図作成のためのマニュアルではなく、「知る、使う」に2/3の項目があてら



れていることから、地図リテラシーのための事典であると、「序」に記されている。ゆえに、「知る、使う」の2軸は、大学のみならず、中学校や高等学校「地理」の地図に関する授業内容を考えるときに、大いに参考になると思われる。さらに、「作る」の部分は大学の地図学や地図デザインの授業内容の参考になる。項目が200項目もあるので、そこから必要な情報だけ選んで使えるところが本書の大きなメリットであろう。

世間は空前の地図ブームである。近年では災害対策はもとより、観光や教育などさまざまな場面で地図が利用されている。地図は今や位置を知るための道具ではなく、意思決定の動機付けや合意形成のためのツールとして活用範囲が広がりつつある。近世末期以降、初等教育における基本的な教育内容とされてきた読み、書き、算盤であるが、これに今後は地図の活用というリテラシーが加えられようとしていると言っても過言ではない。そのような時代の到来を本書は強く後押しする役割を担っており、中等教育以上の学校現場には必ず備えておくべき一冊であろう。

(前杵英明)